

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号:3612 東証第一部)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号:IR室 03-6851-4830)

2021年3月期 (2020/4/1~2021/3/31)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	25.4	38.5	91.7	79.6	80.7	※5 74.0	64.4	89.6						89.6	67.9
店舗売上	※2	15.2	27.9	84.9	72.9	72.6	68.8	56.3	85.2						85.2	60.3
既存店売上	※3	15.5	28.2	85.9	73.9	73.1	69.1	56.8	85.6						85.6	60.8
ECマース売上	※4	122.6	139.2	155.9	136.9	154.8	※5 121.4	139.3	126.2						126.2	137.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,473	2,470	2,466	2,460	2,429	※5 2,428	—	2,436						—	—
出店		19	3	2	3	2	16	45	12						12	57
退店		8	6	6	9	33	※5 17	79	4						4	83
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0						0	0
既存店対象店舗数	※3	2,169	2,227	2,257	2,246	2,212	※5 2,196	—	2,234						—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。
 また、通期の列においては、当期の期初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限られており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。
 このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、今期よりヒロフ社の既存店も既存店売上に含まれます。また、既存店にはECマースの売上を含んでおりません。

※4 ECマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しており、㈱Fashionwalker(2020年7月20日付で譲渡済み)が運営するECモール「ファッションウォーカー」等で扱う他社ブランドの商品売上を含んでおりません。

※5 2020年9月の国内小売売上が73.9%から74.0%へ、ECマース売上前年比が121.1%から121.4%へ、退店数が16から17へ、月末小売店舗数が2,429から2,428へ、既存店対象店舗数が2,197から2,196に修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月 △1 前年同月 +1

・当月は、国内小売売上が前年同月比89.6%となり、内訳は店舗売上が同85.2%、ECマース売上が同126.2%でした。既存店売上は前年同月比85.6%となりました。
 また、当月の休日数は前年同月と比べて1日減であり、既存店売上ベースで△1.6%程度のマイナス影響と推計しております。
 ・当月前半は前年台風の休業や消費税導入後の売上減の反動から既存店売上が昨対100%の滑り出しとなりましたが、在庫集約に甘さが出たEC販路と併せて、順調な気温の低下という天候の追い風を活かしきれませんでした。
 仕入限定解除による追加仕入れやブランド改革による売上改善に取り組む途上として止むを得ない面もありますが、前月迄の在庫消化に力点を置いた戦い方からプロパー中心の販売戦略へ一気に舵を切っており、
 プロパー売上の伸張率が値引き販売を上回るなど「売上の質」が良化する成果が出始めている側面も見られます。
 ・ブランド別では、生活雑貨への旺盛な需要を背景に「ワンズテラス」や「212キッチン」が好調を継続しており、インティメート「リサマリ」、ゴルフウェア「アダバット」、皮革小物「ヒロフ」なども既存店売上の昨対超過を達成しました。
 また、アイテム別では、百貨店販路のブランドでは気温の低下に伴いニットカーディガンを中心とした羽織物、ショッピングセンター販路のブランドでは引き続きブルオーバーやスカートの中軽衣料が好調でした。

(参考:前期実績)

2020年3月期 (2019/4/1~2020/3/31)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		97.9	101.1	98.6	96.4	106.2	105.6	100.6	90.0	98.5	94.3	97.6	96.0	64.8	89.8	94.9
店舗売上		97.3	100.8	98.4	95.6	105.5	104.5	100.0	88.5	97.4	92.4	96.3	92.7	59.8	87.5	93.4
既存店売上		98.1	101.5	96.9	93.7	102.9	101.3	98.8	87.3	94.7	90.0	93.7	89.4	58.1	85.2	91.6
ECマース売上		103.8	104.2	100.6	103.2	113.8	116.8	106.4	104.3	109.2	112.7	108.7	117.5	112.9	110.9	108.9
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,455	2,452	2,515	2,505	2,488	2,486	—	2,491	2,493	2,494	2,475	2,460	2,462	—	—
出店		16	2	6	4	2	17	47	9	8	2	0	5	23	47	94
退店		2	5	1	14	19	19	60	4	6	1	19	20	21	71	131
M&A		46	0	58	0	0	0	104	0	0	0	0	0	0	0	104
既存店対象店舗数		2,191	2,203	2,189	2,192	2,162	2,173	—	2,169	2,171	2,185	2,169	2,144	2,124	—	—